



力強い支援を たたかう力に

6月24日に、事務局団体6名で宮崎労働局に「口蹄疫発生に伴う解雇・失業の防止及び失業者救済を求める要望」を行って来ました。

県労連:大島事務局長が、雇用保険をかけていない事業・従業員5人未満で雇用保険が任意になっている事業の離職者数についての質問に対しては、労働局としては、まったく把握できていないと回答。

農民連:村尻副会長が、ネットワークで要望している事に対して、宮崎労働局から私たちが求める水準に合った回答が出るとは思っていませんが、現状をよく聞いて頂いて厚労省に伝えてほしい。今後も多くの失業者が生まれると思っています。単に労働者が一人離職したにとどまらず、地域経済に与える影響を考えると総理大臣を頭とした対策本部が「国の責任」を認めているのですから、現行の法制度に基づくだけでなく超法規的な救済措置を国がとるべきだと訴えました。労働局としては、既存の制度で出来なければ、真摯に受け止めて上部機関に伝えていきますと回答しました。

今後、ネットワークとして従業員5人未満の雇用保険が任意になっている事業者に対して、労働局として周知徹底を要望し、また、失業給付や雇用調整助成金などは、雇用保険をかけていなくても受け取れるようにしていくことを要請後に話し合いました。

口蹄疫義援金

心温まる義援金を賜り、誠にありがとうございます。

全日本年金者組合の第25回中央委員会の会場にて、義援金が募られたそうです。6月21日に事務局へ120,000円が届けられました。

宮崎県平和委員会からネットワークに参加すると連絡がありました。

「口蹄疫」の影響が大変な勢いで広がっている中、新しい仲間が増える事は大きな励みになります。

今後も、新しい仲間を増やしながらかたかたていきます。



新婦人(宮崎県本部)に届いた絵手紙と激励文

一生懸命育てた牛・豚を一瞬にして失う、本当に悲しいです。私も涙が出ます。

伝染病がこんなに恐ろしい事になるとは、国の責任は重大です。畜産農家の方達にとって、生活の支えです。また、畜産だけでなく野菜農家・運送業・飲食業・観光業にも影響が出ていると。国は責任持って補償して早く撲滅出来るようにして下さい。農家の方は大変お疲れでしょうが希望を捨てず頑張ってください。